



## B.E.11 「～するとよい」「～しなければならない」

p.108

CD I-61

- 1 You **should** go to this exhibition. ▶ この展覧会に行くといいよ。  
 2 You **must** see these pictures. ▶ これらの絵は見ておかないといけないよ。

## Notes

「～するとよい、～すべきである」は **should** を、「～しなければならない」は **must** を用いて表します。 **must** のほうが、**should** よりも意味が強くなります。

▶ 「～しなければならない」は **<have to>** を用いて表すこともできます。

I **had to** wake up early *yesterday*. [過去を表す場合は × **must**]

▶ **must not** [ **mustn't** ] は「～してはいけない」[禁止]、**<do not** [ **don't** ] **have to**]

は「～しなくてもよい」[不必要]の意味になります。

CD I-62

**Let's Check It! 11** \*各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) The movie is good. You ( **should** ) ( **see**[watch] ) it. [見たほうがいいよ]  
この映画はいいね。 見たほうがいいよ。  
 (2) The movie is great. You ( **must** ) ( **see**[watch] ) it. [見ないといけないよ]  
この映画はすばらしい。 見ないといけないよ。  
 (3) You ( **must** ) ( **not** ) ( **enter** ) the staff room today. [入ってはいけない]  
mustn't go[get, come] in(to) 今日は職員室に入ってはいけません。

## B.E.12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

p.117

CD I-63

- 3 Tom **may have arrived** there early. ▶ トムはそこに早く着いたのかもしれない。  
 4 He **must have enjoyed** the exhibition. ▶ 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。  
 5 We **should have visited** it last week. ▶ 私たちは先週そこを訪れるべきだった。

## Notes

過去のことにについて、「～だった[した]にちがいない／かもしれない」と推量する場合は **<must[may]+have+過去分詞>** で表します。 また、**<should+have+過去分詞>** は、「～すべきだったのに」と過去のことにについての後悔などを表します。

▶ Sam was with us last night, so you **can't have seen** him at the station.

サムは昨晚私たちといっしょにいたので、あなたが彼を駅で見かけたはずはありません。[～したはずがない]

CD I-64

**Let's Check It! 12** \*各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) Saya ( **may** ) ( **have** ) ( **had** ) a cold. [かぜをひいていたのかもしれない]  
サヤはかぜをひいていたのかもしれない。  
 (2) Eri didn't answer the phone. She ( **must** ) ( **have** ) ( **been** ) sleeping. [眠っていたにちがいない]  
エリは電話に出なかった。 眠っていたにちがいない。  
 (3) I ( **should** ) ( **have** ) ( **saved** ) more money by now. [ためておくべきだった]  
これまでにもっとお金をためておくべきだった。